

国語科学習指導案			
第3学年*組		指導者 田崎 聡子	
単元名	「小論文を書く」～推敲・批評の作業を通して、説得力のある小論文を書こう～		
単元目標	<ul style="list-style-type: none"> ・課題に沿った、適切な内容の小論文を書こうとする。 (関心・意欲・態度) ・内容に応じて適切な客観的裏付けを活用し、小論文を書くことができる。 (書く能力) ・小論文の主張に沿った適切な情報を収集し分析して、活用することができる。 (知識・理解) 		
単元の評価規準	関心・意欲・態度	書く能力	知識・理解
	①課題に沿った、適切な内容の小論文を書こうとしている。	①客観的な裏付けを用いて小論文を書くことができる。	①自分の主張に沿った適切な情報を収集し、分析することができる。 ②小論文の主張に沿った客観的裏付けを活用することができる。
時間	各時間の目標	主な学習活動	各時間の具体的評価規準及び指導の手立て
1	1 課題の内容に沿った小論文を書く。	1 進路希望に応じたグループを確認する。 2 与えられた課題について小論文を書く。	㊦課題に沿った、適切な内容の小論文を書こうとしている。 (関・意・態①) <u>評価方法：作品の確認</u> 【指導の手立て】 1 課題の内容を理解し、指示されたとおり小論文を書くようにアドバイスする。
2	1 グループごとにお互いの小論文を推敲する。 2 自分の小論文の改善点について考える。	1 グループごとにお互いの小論文を読み、推敲し合う。 2 自分の小論文を見直し、改善点について考える。 <u>グループ活動</u>	㊦課題に沿った、適切な内容の小論文を書こうとしている。 (関・意・態①) <u>評価方法：ワークシートの確認</u> 【指導の手立て】 1 ワークシートに、観点別に評価する欄を作り、推敲する際の観点を示し作業させる。 2 推敲の際、客観的裏付けがあるかどうか、あるとないとは内容にどのように差が出るかを確認させる。 3 自分自身の改善点が自覚できるように指導する。 4 グループ仲間の小論文の良い点、参考になった点についても述べるよう指示する。

3	<p>1 自分の小論文の内容に適した裏付け情報を集める。</p> <p>2 小論文の内容に合うよう情報を整理する。</p>	<p>1 今までのスクラップや現代文での天声人語プリント、新聞記事を基に情報を集める。</p> <p>2 集めた情報を整理する。</p> <p><u>グループ活動</u></p>	<p>㊦自分の主張に沿った適切な情報を収集し、分析することができる。 (知識・理解①)</p> <p><u>評価方法：ワークシートの確認</u></p> <p>【指導の手立て】</p> <p>1 小論文の内容に合った適切な裏付けを活用するよう、グループで検討させる。</p> <p>2 小論文の中でどのように活用するかを具体的に考えさせる。</p>
4 【 本 時 の 学 習 】	<p>1 集めた情報を効果的に活用し、小論文を書く。</p>	<p>1 集めた情報を基に小論文を書き直す。</p> <p><u>グループ活動</u></p>	<p>㊦客観的な裏付けを用いて小論文を書くことができる。 (書①)</p> <p>㊦小論文の主張に沿った客観的裏付けを活用することができる。 (知識・理解②)</p> <p><u>評価方法：作品の確認</u></p> <p>【指導の手立て】</p> <p>1 推敲した内容、まとめた情報を参考にして書き直すようアドバイスする。</p>
5	<p>1 推敲し検討した内容を小論文に活かすことができる。</p> <p>2 どうすれば説得力のある小論文が書けるかを理解する。</p>	<p>1 初めに書いた文章と書き直した文章をグループごとに吟味し批評し合う。</p> <p>2 読み比べたそれぞれの小論文についての意見交換を行う。</p> <p><u>グループ活動</u></p>	<p>㊦小論文の主張に沿った客観的裏付けを活用することができる。 (知識・理解②)</p> <p>㊦課題に沿った、適切な内容の小論文を書こうとしている。 (関・意・態①)</p> <p><u>評価方法：ワークシートの確認</u></p> <p>【指導の手立て】</p> <p>1 裏付けを取り入れた小論文は説得力が増すということを生徒が理解できるよう、ワークシートを中心に批評の仕方を示して活動させる。</p> <p>2 今後の励みとなる批評内容になるよう、お互いの良い点についても意見を出すよう促す。</p> <p>3 意見交換で出された生徒の意見を発表させる。</p>

本時の学習

平成*年*月*日(*)

第 * 時限

資料	自分の書いた小論文，ワークシート，国語辞典，資料（お薦めスクラップファイル，新聞記事，天声人語プリント等）				
展 開		学習内容	学 習 活 動	時間	指導上の留意点及び評価の実際
	導入	本時の目標の確認	<ul style="list-style-type: none"> ・本字の目標を確認する。 ・前時までの学習状況を確認する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・目標を板書する。 ・ワークシートで確認する。 ・前時までにまとめたことやアドバイスされたことを確認し，迷っている点や分からない点についてはグループメンバーに相談する。
	展 開	自分が活用しようとする記事についての整理 ・確認 小論文を書く 書いた小論文の推敲	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の小論文に適切な内容の記事であることを確認する。 ・初めに書いた文章より説得力のある内容を目指して小論文を書く。 ・書いた小論文を自分で推敲する。 	40	<ul style="list-style-type: none"> ・自分が書く小論文に沿った内容の情報であることを確認し，構成を決めてから書き始めるように指示する。 ㊦ 小論文の主張に沿った客観的裏付けを活用している。(知・理②) ・どの記事を使うか決まっていなかったり，構成が決まらなかったりする生徒にはグループで助言し合うよう指示する。 ㊦ 客観的な裏付けを用いて小論文を書いている。(書①) ・活用した裏付けが適切に使われているかに注意しながら書くように指示する。 ・書けていない生徒については，机間指導で対応する。 ・書いた小論文を自分で読み返して推敲する。
	まとめ	本時のまとめ 次時の予告	<ul style="list-style-type: none"> ・書いた小論文を読み返す。 ・本時に書いた小論文を，グループごとに批評し合うということを説明する。 	5	<ul style="list-style-type: none"> ・目標に沿って小論文を書くことができているかを確認させる。 ・書き終わっていない生徒については，次時までに仕上げておくように指示する。